



アドバンス・ケア・プランニング (ACP)

年齢を問わず健康な時から人生の最終段階をどのように過ごしたいかを考え、自分らしい人生を生きるために家族をはじめ身近な人たちと話し合う取り組みのことをいいます。「元気な時に最期のことなんか考えたくない、いつまでも健康でいたい」と多くの方は思われるでしょう。でも医療現場ではいざ最終段階になるとご本人の思いがわからなかったり、伝わらなかったりすることが多いのです。普段から自分の思いをまわりの大切な人たちと共有しておくことが大切です。

厚生労働省は、ACPの普及をさせるために「人生会議」という愛称を付けました。家族や友人などの身近な信頼できる人たちと、自らが望む人生の最終段階における医療やケアについて話し合うことの重要性が高まっています。

【話し合う内容】

● 大切にしたいこと	● これからの治療やケア
● 今後過ごしたい場所	● 代わりの判断は誰にして欲しいか

一度で全部話しきれませんし、思いは変わって当然です。このため、繰り返しの話し合いが必要です。

◇元気なとき

家族や大切な人と思っていることや心配な事を気軽に話し合ってください。

◇病気になったときや身体が弱ったとき

主治医の先生から病気や状態、見込みについて説明を聞きましょう。

受けたい医療やケアや療養生活について繰り返し話し合います。

自分の思いを大切な人や関わる人たちと分かり合しましょう。



【人生会議をすすめるための病院の指針】

患者さんとご家族が、医療・ケアチームと話し合いのもと、それぞれの病期に応じて患者さんの意思と権利が尊重され、自分らしい生活が送れるように支援します。

【当院の取り組み】

当院では、入院予定のある患者さんに『私の人生シート』を提供しております。

大切な思いを伝えておきたい場合は、『私の人生シート』をご記入頂き、入院時にご提示下さい。

入院後、患者さんの意思を尊重するためコピーを診療録に保管し、個人情報として遵守致します。

『私の人生シート』は、いつでも見直しができます。希望や思いが変わった場合は、自由に何度でも変更できます。その際は、変更事項をご記入頂き、お近くの医療従事者にお声をおかけ下さい。

ご相談がある方は、主治医や看護師・入院準備センターにお申しつけ下さい。

まずは、主治医の先生から病状などの説明をよく聞きましょう。

そして、自分の受けたい医療やケアについて相談をしたいときは、主治医や看護師などの医療スタッフにお伝えください。皆様の「大切にしたいこと」や「自分らしく生きること」を支え、思いに沿った医療やケアを受け自分らしい人生を生きるためのお手伝いをしたいと思います。

